

平成 18 年度

「医工連携交流会」

群馬大学・宇都宮大学・小山工業高等専門学校 三大学共催

医学・工学の連携の重要性は以前から認識され、最近ではその要請がますます高まっています。しかし、我が国の医学・工学の連携はなかなか進んでいません。そこで、本交流会では、特に医療周辺機器である介護・看護機器/機材に焦点を当て、ユーザーである医療福祉関係の研究者の開発・改良ニーズに対応したより付加価値の高い機器開発等を目指します。本交流会にご参加される企業の方々には、この周辺機器/機材に対する多様なニーズにお応えして頂き、新たなビジネスパートナーとして将来の医療福祉の発展の一翼を担って頂くことを期待しています。本交流会へのご参加を契機に、今後継続的に企業が保有する技術シーズとのマッチングを図り、有益な医療機器/機材開発に繋げて行くことが本交流会の目的です。

医療機器事業への参入にご関心をお持ちの企業の方々、大学・研究機関及び医療機関の方々におかれましては、万障お繰り合わせの上、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

日 時	平成18年12月8日(金) 13時30分～17時10分		
(1) 会 場	群馬大学工学部総合研究棟 506 室		
(2) 参加費	1,000円(教材費)	懇親会費: 1,000円	
(3) 挨 拶 (13:30～13:50)	群馬大学医学系研究科病態循環再生学講座(イノベーションセンター昭和分室長) 教授 小濱 一弘 群馬大学工学部 工学部長 宝田 恭之 関東経済産業局産業振興課バイオ産業チーム バイオ産業チーム長 鈴木 隆文		
(4) 講 演	①「安全・安楽・確実な点滴静脈ラインの遮光」(～14:20) 群馬大学医学部保健学科看護学専攻臨床看護学講座 教授 神田 清子 ②「在宅療養生活補助具とケア技術教材開発へのメッセージ」(～14:50) 群馬大学医学部保健学科看護学専攻地域看護学講座 教授 牛久保 美津子 ③ 休憩・名刺交換(～15:10) ④「アレルギー対策住宅の共同開発 人に優しい次世代型健康住宅」(～15:40) ハラサワホーム株式会社 代表取締役社長 原澤 浩毅 ⑤「無痛針の開発」(～16:10) 株式会社 共伸 代表取締役会長 前田 政雄 ⑥「「糸ゲル」を用いたたんぱく質分離用高速二次元ゲル電気泳動システムの開発」(～16:40) 群馬大学工学部応用化学科分子設計化学第一講座 教授 角田 欣一 ⑦「とちぎ生体医用福祉工学ネットワークの活動」(～17:10) 宇都宮大学工学部機械システム工学科 教授 酒井 直隆 ⑧ 閉 会 挨 拶 群馬大学共同研究イノベーションセンター 教授 須齋 嵩		
(5) 懇親会(名刺交換)	(17:15～18:45)	会場 生協ホール	

----- 切り取り ----- 「第 11 回医工連携交流会」登録申込 ----- 切り取り -----

群馬大学 共同研究イノベーションセンター昭和分室 FAX:027-220-8116 / TEL:-8115 (担当:石田)

URL <http://www.bioforum.or.jp/>

■ 必要事項をご記入のうえ、群馬大学共同研究イノベーションセンター昭和分室まで FAX にてお送り下さい。

講演会: 参加 不参加 (○で囲んで下さい) 懇親会: 参加 不参加 (○で囲んで下さい)

貴社/部署名	(フリガナ)	TEL / FAX :
住所	〒	
お名前	(フリガナ)	E-mail :